

施策評価表

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（課長等）	30年 10月 1日
2次評価日（部長等）	30年 10月 1日

1 施策の概要

施策名	治山・治水事業の推進	コード	9-2
この施策の主な内容（細施策）	(1) 治山事業の促進 (2) 治水事業の推進		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	自然災害から人命や財産を守り、安全・安心な生活環境を創出する。		
担当部課	部 建設水道部	課等 土木課	作成者 古川 幸男

●施策の実施内容 (D0)

2 施策指標の達成状況

* 第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：30年度）

施策指標名	単位	27年度	28年度	29年度			30年度	31年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 市内の普通河川整備の延長	m	24,720	24,731	24,761	24,739	99.9%	24,807	
指標説明	普通河川総延長43,600mに対する改良済延長を示したもの。							
②						-		
指標説明								
③						-		
指標説明								

3 施策全体にかかる合計コストの推移

* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）
直接事業費	2,764	1,990	2,992	3,000
人件費	8,000	8,000	8,000	8,000
合計コスト	10,764	9,990	10,992	11,000

●施策の評価 (CHECK)

4 施策の現状評価

* 29年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

河川改修事業の「平成18年7月発生の災害関連事業」は、順調に進み平成22年度に計画通り完了した。河川整備事業予算の確保は依然、厳しい状況にあるが、施策目標達成は、少しずつ成果を上げている。
河川の総延長が長いことから整備率は低いが、整備が必要な箇所を見極め、効果的・効率的な整備を進める必要がある。

* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	災害復旧事業により土砂災害に対する危険度が減少し、安全・安心な生活環境が確保できつつあることから、未整備河川等整備推進の必要性が理解されやすくなった。
岡谷市の弱み	市の財政見通しは、依然として景気回復は低調であり、市税や地方交付税等の増収が見込めず厳しい状況が続いており、河川整備等の投資的事業等を大幅に推進させることは困難である。

5 今後の外部環境の変化

* 30年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	土砂災害防止法による警戒区域等の指定に伴い、地域の取組み等のソフト対策の重要性が浸透してきている。このため、ハード面のみならず地域の取組み等を含めたソフト面の充実により市民理解が得られる。
不利に働くもの	景気回復が低調であり、財政事情が厳しい。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成31年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	河川改修事業については、整備率が低く早急な整備が必要であるが、予算確保が困難な状況もあり、より効率的な改修をするため、河川台帳、河川パトロールの結果を基に、河川整備の計画を策定するなど、整備方針を明確にすることを優先させる。
見直しを行う分野	整備計画の策定により、河川整備の優先順位の見直しを図る。

●31年度の優先度

* 方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標				妥当性	方向性	優先度
							直接事業費		人件費				
							27年度	27年度	27年度	27年度			
							28年度	28年度	28年度	28年度			
							29年度	29年度	29年度	29年度			
1		建設	あり	河川改修事業	進捗率 (直接事業費)	%	94.2	2,764	8,000	—	継続して実施	A：拡大	
							99.4	1,990	8,000				
							107.3	2,992	8,000				
								3,000	8,000				
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													